



竹のクイズ

解答

- A 1** a. モウソウチク(孟宗竹) 美味しいタケノコが取れる。葉の幅はせまい(0.8~1.0cm)
 b. マダケ(真竹) 竹細工に向いている。葉の幅は広い (2.0~2.5cm)
 c. ハチク(淡竹) 竹やりの材料に使われた。葉の幅はせまい(1.2~1.7cm)
- A 2** マダケ かぐや姫は日本最古(平安時代前期)に書かれたと云われる竹取物語に出てくる。物語の時代設定は奈良時代の初期(天武天皇、持統天皇に仕えた実在の人物がモデル)。この時代にはモウソウチクやハチクは無かった。
- A 3** マダケ エジソンが発明した白熱電球のフィラメントに現京都府八幡市の男山付近の竹が使われた。木綿糸などで実験していたが机の上にあった竹の扇子を見つけ使うことに。日本の伊藤博文首相に会って「京都の竹」と云われた。エジソン電灯会社に輸出され何百万個の電球が全世界の明かりをともした。
- A 4** d. 最速1日100cmくらい
 タケノコの生長は先端だけでなく節ごとに生長するようになっているので、例えば20個の節があればそれぞれ1日に1cm生長しても20cm生長することになる。最速24時間内で120cmの記録がある。
- A 5** d. 最初の年に生長してからはもう高くも太くもならない。
 タケノコはものすごい勢いで上方に生長しますが伸び切ってしまうと生長を止めてしまいます。一気に生長して太陽の光を受け止めることができるようになると光合成で得たエネルギーはひたすら地下茎に送り込みます。このようにしてたっぷりと蓄えたエネルギーがあるからこそタケノコを一気に生長させることができるのです。
- A 6** c. 花びらのない花
 イネ科(タケ亜科)の植物である竹の仲間は、数十年に一度ですが花を咲かせます。その花はイネ(稲)と同じように風媒花ですから、とても地味で花びらのない花です。
- A 7** e. 種類によって違うので断定的なことはいえない
 基本的に竹は毎年花を咲かせず、数十年に一度花を咲かせて枯れます。周期を実験して確認しようにも数十年を要します。日本だけで数百種類もある竹の個別の研究をするのは至難の業と云うことでほとんど分かっていません。マダケがおよそ120年周期が確認されています。モウソウチクが67年周期で開花した例が確認されている。色々の種類の中には、もっと短い周期で確認されているものもある。
- A 8** c. 竹は春に落葉して新旧交代します。
 竹はいつも緑で落葉なんかしないように見えますが、竹に限らず常緑樹でも葉の新旧交代は行われています。竹の場合は春に起こるようで短期間ですが黄葉します。そして落葉し新しい葉がすぐに大きくなります。竹林の中には竹の落ち葉が敷きつめられています。この黄葉のことを「竹の秋」と云う。
- A 9** a. タケノコの皮が生長後は脱落するものが竹 b. タケノコの皮が腐るまで付着しているものが笹
 鈴木貞雄と云う博士は竹類と笹類と云うのは、分類学上の区分ではなくあくまでタケ科の便宜上の区分にすぎない。と云っている。その上で室井 緯博士が定義づけられているのが「タケノコの皮が生長後は脱落するもの」を竹、「皮が腐るまで付着しているもの」が笹と分類されている。